

優先プログラム 1

リスク評価と意識向上



800人の受講者、教師、生徒が参加した研修の実施と、学校での防災教育を促進するための25の教材と教師用の手引きの配布



世界災害共通番号（GLIDE）関連データベース10件の開発
※優先プログラム2、3、4にも貢献

優先プログラム 2, 3, 4

予防と緩和



気候変動予測を組み込んだ洪水・土砂災害リスク評価のガイドラインと訓練モジュールの開発



1,300人以上のASEAN地方政府職員が受講した、防災に関する一連の研修の実施



ASEAN災害リスクファイナンス・保険プログラムと災害時の被害データベース



800人以上のASEAN加盟国公務員が受講した、防災のための衛星画像活用に関する一連の研修の実施
*優先プログラム5および6にも貢献

優先プログラム 5, 6

準備と対応



[ASEAN緊急災害ロジスティックシステム（DELSA）](#)：

- ・ マレーシア、タイ、フィリピンの3カ所にサテライト倉庫を設置し、[救援物資](#)の地域備蓄を実施
- ・ 2020年12月までにASEAN 7ヶ国・31ヶ所の災害支援活動に DELSA 救援物資を手配
- ・ DELSAの概要説明とAHAセンターによる危機管理トレーニング（ACT）を46名に実施
- ・ 様々な[広報活動](#)を通じた、AADMER、AHAセンター、そしてDELSAについての認知向上



[ASEAN緊急対応評価チーム（ERAT）](#) の変革約200人のASEAN-ERATメンバーが訓練を受け、少なくとも5回のASEAN-ERAT派遣ミッションを実施



2019年12月時点で[AHAセンター エグゼクティブ（ACE）プログラム](#)の6期生合計118名の卒業生を輩出
*優先プログラム8にも貢献



100人以上の参加者がラカイン州での現地能力開発活動と災害対策計画に参加

優先プログラム 8

専門知識と技術の活用



統合 ICT インフラとシステムの構築：

- ・ フェーズ1: AHAセンターのICTインフラの構築、およびAHAセンターのICT担当者としてASEAN加盟国公務員の能力向上関連活動
- ・ フェーズ2: AHAセンターとASEAN加盟国の各防災担当局との連結性向上
- ・ フェーズ3: 災害復旧バックアップと緊急時対応センター（EOC）のバックアップオフィスの設置
- ・ フェーズ4: クラウドを利用したICTインフラの整備と2025年以降の災害管理に関するICT [ロードマップ](#)の作成；90名以上が参加したASEAN災害報告および防災のためのビッグデータ活用に関するワークショップの開催



[防災に関するASEANの他の関連セクター機関およびASEAN関連機関とのシナジー効果を促進するためのASEANマッピング演習](#)